

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第330回

キャロル・バーネット

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和4年11月24日

編集委員：入試広報室 鈴木



今回の言葉

Only I can change my life.
No one can do it for me.

私の人生を変えられるのは私だけよ。

誰も私のためにそんなことやってくれないわ。

キャロル・バーネットは、アメリカ合衆国の女優、コメディエンヌ、声優である。

Column

女優やコメディエンヌ、声優という人前で演じる立場であったキャロル・バーネットにとって、くじけてしまいそうなくらいに悩んだり苦しんだりする場面は数え切れないほどあっただろうと思います。そんな苦難を乗り越えてたどり着いた人物による、人生における一つの“答え”として今回の言葉を紹介します。

私も自分の中ではいろいろな苦難を乗り越えて今があると思っています。今回の言葉にも納得です。しかし、同じくらい“わかるけど（すぐに）できない時もあるよ…”とってしまうところがあります。自分の弱さから辛い時や不安な時は、つい誰かに助けを求めたくなります。『辛い時だけ人を頼るなんて都合がいいよな…』と思いつつ、謝罪も含めて仲間に相談すると『お互い様だよ！』と励まされ、パワーを分けてもらったと感じた経験が数多くあります。また『辛い時に寄り添ってくれる人を大切にしてください』と教えられたこともあり、仲間の存在は自分の中でかなり大きいのですが、最終的に立ち直ろうと決意するのも立ち直るまで努力していくには自分自身の頑張りしかないのも事実です。そういう意味で一見突き放されるような冷たい感じがする今回の言葉ですが、実は『立ち直って頑張るキミを待ってるよ！』という愛に溢れたエールだと私は捉えています。

辛い時こそ“勇気”を持つことが大切だと改めて感じます。その勇気には2つあって『立ち直るための勇気』と『今すぐ辛いと言える勇気』です。今回の言葉は“弱音を誰かに吐いてはいけない”という意味に感じてしまうかもしれませんが違います。少なくとも正智深谷高校の仲間たちの中では違っていると信じています。現時点でもみなさんは仲間の性格や抱いている感情について理解していると思います。ここからもう一段階深く理解してみませんか？仲間の人生は変えられないですが、変わろうとしている仲間に対して目一杯のアシストはできるはずで、そんな“思いやりの心”は巡り巡って必ず自分自身に戻ってきます。仲間への愛は自分への愛にもなるわけですから。思いやりの輪がみなさんをさらに充実させることを願っています！